

施策番号	332	施策名	生涯学習の推進	令和4年度主管課名	生涯学習課
総合計画体系	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	令和4年度課長名	小原 克則
	関係課名			シート作成者	日下 隆春

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	7年度
ア 町民	→	ア	人口	人	見込値			11,800	11,627	11,280
						実績値	12,625	12,497	12,358	
イ 生涯学習施設	→	イ	町内の生涯学習施設数	施設	見込値			17	17	17
						実績値	17	17	17	
ウ	→	ウ			見込値					
						実績値				
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	7年度
ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう	→	ア	何らかの学習活動を行っている町民の割合	%	目標値	50	40	41	42	44
					実績値	42.4	40.1	42.6		
					達成率	84.8%	100.3%	103.9%	101.4%	96.8%
イ	→	イ	公民館講座受講者数	人	目標値	20,000	20,000	20,500	21,000	22,000
					実績値	15,734	11,926	17,604		
					達成率	78.7%	59.6%	85.9%	83.8%	80.0%
ウ	→	ウ	公民館利用人数(参考)	人	目標値	83,000	70,000	70,000	70,000	70,000
					実績値	65,237	63,673	72,790		
					達成率	78.6%	91.0%	104.0%	104.0%	104.0%
エ	→	エ	住民一人当たりの図書貸出し冊数(参考)	冊	目標値	10	10	10	10	10
					実績値	6.8	7.4	5.5		
					達成率	68.0%	74.0%	55.0%	55.0%	55.0%
⑤ 成果指標設定の考え方	町づくりを担う最大の力は住民であり、中でも自ら学ぶ人間が実践に繋げていくというために、公民館の講座を利用、図書館利用により学習意欲が高まることを設定した。			⑥ 成果指標の把握方法と算定式等	ア.町民アンケート イ・ウ・エ 公民館講座受講者数・公民館利用者数・住民一人当たりの図書貸出冊数ともに担当課調べ					

2. 施策の役割分担

施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民は、自ら学習テーマを見つけ、自主的に学習活動を行うとともに、学習成果を地域づくりに活かすよう努める。</li> <li>・地域・団体は、学習成果や人材を活用するよう努める。</li> <li>・事業所は、町民や地域活動に協力するとともに、人材を事業活動に活用するよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習施設の整備及び適切な管理を行う。</li> <li>・関係団体やサークルと連携し、学習機会や情報の提供を行う。</li> <li>・団体やサークルなどが行う学習活動を支援する。</li> </ul>

3. 評価結果

4年度 の 評価結果	1. 施策の成果水準とその背景・要因	
	① 施策の目標達成度(目標値を達成したか、未達成か?その要因は?)	
	前年度よりは上回る数値であったが、コロナ禍の余韻もあり目標値は下回った。しかし、おおむね予定していた講座・行事等は開催できた。	<input type="checkbox"/> 目標値を上回る <input type="checkbox"/> 目標値どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を下回る
	② 成果指標の時系列比較(成果は向上したか?低下したか?要因は?)	
	コロナの制限が前年度よりも緩和されたため、公民館活動や講座・行事等の参加も増えつつある。図書館の貸出冊数の減少は、10月~1月まで改修工事により図書館を閉館したことの要因が大きいと認められる。総合的に考えれば向上したといえる。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input type="checkbox"/> 低下した
	③ 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)	
	公民館や総合文化施設などの教育施設の数に隣接する市町村と比較すると多く、各施設に常勤職員を配置し、住民の学習意欲を向上させる体制が整っている。利用者のニーズに合わせ図書館の開館時間を変更するなど利用しやすい環境を整え、サービス向上を図っている。	<input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
	2. 施策を取り巻く環境変化(対象の変化、国県の動向、法改正等)と住民からの意見・要望など	
	講師・関係団体構成員の高齢化により学習活動が困難な状況になりつつあるため、人材の確保が重要となってくる。また、施設も老朽化が進んでいるため、改修工事や修繕なども増えてくると思われる。	
	3. 施策の振り返りと総括 (4年度の事務事業や取組の成果は?うまくいかなかった取組・問題点と原因は?)	
① 施策の成果向上につながった主な事務事業	ペスタロッツ館臨時管理費・香北公民館整備事業費・芳野公民館臨時管理費	
② 施策の成果向上のため改善を要する主な事務事業	シニアスクール推進事業費	
③ 施策全体の振り返りと総括		
施設の整備・改修事業の実施により、町民に利用していただきやすい環境整備を整えることができ、かつ照明のLED化により光熱費を抑えることができると思われる。シニアスクールについては、開始当初と比べて中学校の意識も変わりつつあり、スペース(教室)の確保も問題となっている。また講師の確保も困難となっているため、運営方法を根本的に見直す必要がある。		
4. 施策の今後の課題と改革改善の方向(今後、新たに取り組むべきこと、さらに力をいれる必要があることは?)		
① 今後施策の成果向上につなげる主な事務事業	社会教育学級開設費・生涯学習推進事業費	
② 施策全体の今後の課題と改革改善の方向		
コロナによる規制が緩和されつつあり、通常通り内容で講座や行事を開催することが可能となった。また、施設の整備や改修が行われ学習環境も整いつつあるため、これらの施設を利用して町民の学習意欲を向上させるような講座や行事を計画し、広く町民に参加を呼びかけ、学習の機会を提供出来るよう努める。		